

みはらし

第17号

平成31年
1月発行



新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えの事とお慶び申し上げます。旧年中は、ご入居者並びにご家族、地域の皆様、関係各位からの温かいご支援ご協力を賜り、無事新春を迎えることができましたことを心よりお礼申し上げます。昨年は、長期間に渡る改修工事に伴い、騒音等で多大なるご迷惑、ご不便をおかけいたしました。工事も無事終了し生活環境の改善が図れたのではと考えております。昨今、介護・福祉事業が抱える課題として人材不足や人材育成及び職場定着の改善が急務とされる中、当施設におきましても「人材育成プログラム」の実践や、職員全員が持っている「福祉の心」を次のステップに発展させる努力を払いたいと考えております。最後に今年の干支は亥ではありますが、人生100年時代と言われる今を常に学びの姿勢を持ち続け、皆様と共にじっくり歩んでいければと思っております。本年も変わらぬご指導ご鞭撻の程、宜しく申し上げます。 相談課長 芳賀沼 大輔

皆様、新年明けましておめでとうございます！

昨年は「やってみよう」を合言葉に苑内・苑外に向け様々な事にトライをした年となりました。

納涼祭でボランティアの和太鼓さんとコラボをしたよさこいソーランや、ナイアガラ花火にはじまり

ご家族を対象に行いました施設看取りの勉強会など、皆で一致団結してまい進してまいりました。

昨今の全国的な介護職員の人員不足のなか、職員は皆前向きにチャレンジしてくれました。

工事期間ご不便をおかけする事もしばしばある中、ご入居者の変らない笑顔や「ありがとう」と

いう言葉、皆様のご理解やご協力があったからこそ乗り切れたと実感しております。

さて今年の干支は亥です。そこから言えば「むさし村山苑」は生まれて5年のうりぼうです。

まだまだ未熟ではありますが、まっすぐに成長していけるよう今年も努めてまいります。

介護課長 平原 茂樹



新年あけましておめでとうございます。

昨年度入職し不慣れな事も多い中、皆様には大変お世話になりました。

年々変わる気候により、ご入居者の身体的・精神的負担は大きく心配も多いですが、専門職として介護職と連携しながら日々の業務にあたりたいと思います。医務課の看護職員は常勤・非常勤合わせて

8人おりますので、お困りの事やお聞きになりたいことがありましたら、お声かけください。

華道クラブも担当しており、花に心洗われながら皆様と一緒に楽しみたいと思っております。

本年もどうぞよろしくお願い致します。

医務課長 早乙女 希世

とぴっくみはらし

ウイルス・菌の感染対策の基本



《接触感染》抵抗力がない状態の人に触れることによって感染します。手指で口や鼻を触って粘膜から感染する場合や、菌を含む食品を食べたり飲んだりすることで感染する場合があります。感染を防ぐには、手洗いを行なう事が重要です。ノロウイルス、腸管出血性大腸菌など。

《飛沫感染》菌を含んだ飛沫やくしゃみ、会話などによって飛散し、鼻や口の粘膜などに接触することによって感染します。不織布製のマスクの使用欠かせません。インフルエンザウイルス。

《（参考）空気感染》ウイルス・菌を含んだほこりが空气中に浮遊し、それを吸い込むことによって感染します。空気感染を防ぐには、マスクや部屋の換気をすることが必要です。結核菌など。

★お正月 僕にもあるかな お年玉 (廣瀬)

★新春に 桜咲いたと 知らせあり 嬉しくもあり 悲しくもあり (田中)

★新年に 心に誓うが 直ぐ挫折… (川村)

★寒くなり 早番つらいよ この季節 金じゃなく 貯まっていけるのは 脂肪だけ (杉本)

★春よ来い 私の春も 早く来い 入居者さん 今年もご一緒 ようくね (友田)

★正月の 餅も酒もあり 休みもあれば なお楽しき (千葉)

★広報誌 あっという間に 最終号 過ぎゆく日々の 早きことかな (千葉)

今年度の広報誌『みはらし』は最終号になります。広報委員が俳句や川柳を読みました。

編集後記

発行：社会福祉法人 恭篤会
むさし村山苑広報委員会

〒208-0011 武蔵村山市学園2丁目37-5
☎ 042-590-0070 / Fax 042-561-5881
<http://www.kyoutokukai.com/>



クリスマス会

今年も各ユニットで趣向を凝らしたクリスマス会が催されました。



巨大ケーキを皆で切り分けて食べました。



Merry Christmas

職員の手作り
ランチ♡



新年会



今年も
よろしく
お願いします。

